

8月の銅マーケットレポート及び9月の見通し

橋本アルミ(株)
橋本健一郎氏

予想レンジ

| | | | |
|--------|----------------------|---|------|
| LMEセツル | 4900-5200ドル | ↑ | 弱い |
| 建値 | 630-680円 | ↑ | 弱い |
| 為替 | 119~122円 (1か月間T T M) | ⚡ | 変わらず |

■概況：前半は7月のインド製造業PMIは52.7に上昇、6ヶ月ぶり高水準、予想は51.0、7月のユーロ圏製造業PMI改定値は52.4に上方修正、6月の米個人消費は前月比0.2%増加、所得は0.4%増加などのプラス材料もあったが、民間(HSBC)発表の7月中国製造業PMI改定値は47.8に下方修正。47.8は2年ぶりの低水準だったこと。中国人民銀行調査統計局長、中国経済への下方圧力は年後半も続くことと認識示したことを嫌気しDOWN。8月15日時点で5156ドル(セツル)と月初価格より64ドルDOWNの前半締めとなった。

後半は、国家隊が2兆3000億円の資金投入したとの観測を受けて反発したこと、人民銀は26日に短期流動性オペ(SLO)を通じて1400億元(約2兆6000億円)を市場に供給したと発表。前日の政策金利や預金準備率の引き下げに続いて施策を打ち出したことが金融市場の安定を促すなどのプラス材料もあったが、中国の3日連続利下げからの景気後退懸念やWT1原油が

一時40ドル割れを興したことからDOWN、9月2日現在、後半スタート価格から6ドルDOWNの5095ドル。建値67万円のスタートとなった。

■前月の経済指標：月間のドル/円レート(T T S) 124.84 → 122.65(円)

◆自動車生産台数：日本自動車工業会によると自動車生産台数は前年比-5.9%の89万4846台であった。

◆自動車販売台数：日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前年比+2.3%の21万1303台。

◆新設住宅着工戸数：国土交通省統計によると新設住宅着工戸数は前年比+7.4%の7万8263戸であった。

◆貿易関連指標：輸出 財務省貿易統計によると輸出は前年比で電気銅が+23.6%の4万7313t、スクラップが-31.9%の1万9914t。

輸入：輸入は 電気銅が前年比-78.9%の2106t、スクラップ -21.9%の758t

故銅
市況

海外銅が4営業日続伸で、国内建値にも70万円回復の兆し

11日の故銅市況は、静かな中にも、やや荷動きは出てきている様子。

同日入電の海外相場は、米連邦公開市場委員会(FOMC)を来週に控える中で、非鉄はまちまちとなった。銅の他に、錫や鉛、ニッケルも値を上げているが、亜鉛とアルミは反落している。LME銅相場はセツルメントで、前日比34.00ドル高の5400.00で4営業日続伸した。発表された中国の経済指標の内容がよくなかったことや、FOMCを控え投資家の間では警戒心はあったとみられるが、ファンド筋の買いがあったことなどが相場を後押しし、銅は5400ドル近くまで回復している。10日に発表された8月の中国消費者物価指数(CPI)は前年同月比2.0%で上昇しているが、生産者物価指数(PPPI)は前年同月比5.9%と低下し、市場の予想を下回ったことなどから、依然として同国経済の先行きは不安視されるものの、銅は現在底値にあるのではないかとの見方もあり、下げ基調は一旦、落ち着いている様子。NY銅相場は、前日比1.20セント高の245.45セントで3営業日続伸となった。中国が追加景気刺激策を行うことを示唆したことを受けて、一部の投資家の間で買い戻しを急ぐ動きが出たことも影響したとみられる。

為替動向は、10日のニューヨーク外為市場では、ドルは円を除く主要通貨に対して、軟調となってい

る。米国の経済指標の内容があまり振るわなかったことで、米連邦準備理事会(FRB)の9月利上げの憶測が弱まったことなどが要因とみられる。11日午前の東京外国為替市場では、円相場は上げ幅を縮小している。日経平均株価が下げ渋る展開となっていることから、リスクが低いとされる円が売られ、ドルが買われる動きがでている。東京為替T T Sは、前日比0.59円安・ドル高の121.82円となった。

なおNYカーブは、前日比1.50ドル高。海外相場とT T Sから計算した国内採算値は、前日比7,000円高の69万7,000円となり、この日の国内電気銅建値は69万円に据え置かれた。

この日の荷動きは、建値70万円回復も見えてきたとの声も聞かれる中で、静かな中にもやや動きは出てきている様子。ある大手問屋は「品物はそれなりに出てきている。どんどんというわけではないが、ある程度は出てきている」と話す。「今月に入ってから、建値は5万円上がったわけだから、ある程度は出てきている感じはするけれど、同じような状態といえば、同じような状態かもしれない」と、停滞していた荷動きが、このところの海外が落ち着きを取り戻していることなどを背景に、ボチボチ出てきている様子が伺える。ピカ線に関して「610円くらい」との声も聞かれるが、値段にはややバラつきがみられる。このまま建値が回復すれば、もう少し荷動きは活発になるかも